

2011年12月26日
イオン株式会社

福岡市とイオン株式会社との地域共働事業に関する包括連携協定について

本日、福岡市（市長：高島 宗一郎）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田 元也）は、地域共働事業に関する包括連携協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。

この度の協定の目的は、福岡市とイオンが双方の魅力を活かして事業に共働して取り組むことにより、福岡市の一層の活性化及び市民サービスの向上に取り組むことです。

本協定により、福岡市とイオンは、電子マネー「WAON」の活用や観光振興、環境対策、災害時の支援、市民の健康増進など9項目について両方で協力し、さまざまな取り組みを進めてまいります。

本協定の取り組みの第一弾として、「博多祇園山笠」と子どもたちを券面にモチーフした「FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON」を12月27日（火）より発行いたします。このカードがイオンやマックスバリュをはじめ、ファミリーマート、マクドナルド、吉野家、ビックカメラなど全国130,000箇所の「WAON」加盟店で利用された金額の一部を、福岡市の「おもいやりの心をもった地球市民を育む活動」にお役立ていただきます。

また、来年の2月には、イオンモール香椎浜において、地域の皆さまの利便性の向上を目的に、福岡市保健福祉局と連携し、特定健診（よかドック）や乳がん検診など6つの健診を実施いたします。

本協定を機に、福岡市とイオンはこれまで以上に連携し、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に連携して取り組んでまいります。

記

【包括連携協定の概要】

- (1) アジアを見据えた観光振興に関すること
- (2) 市の環境政策に関すること
- (3) 地域の安全・安心の確保や災害時の支援に関すること
- (4) 高齢者や障がい者の支援など福祉に関すること
- (5) 子育てや青少年育成の支援に関すること
- (6) 地産地消、食育及び健康増進に関すること
- (7) 市政情報の発信に関すること
- (8) ICカードの活用に関すること
- (9) その他市政の推進や市民サービスに関すること

以上

ご参考までに

【「FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON」の概要】

発行開始：2011年12月27日（火）

販売場所：九州エリアの「イオン」や「マックスバリュ」など、約90店舗で販売をスタートし、その後、全国のイオンで販売いたします。

カード販売目標：初年3万枚

発行手数料：1枚300円（税込み）

チャージ可能金額：上限5万円（一回あたりのチャージ金額は2万9千円です）

カード表面



カード裏面



「FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON」は、利用金額の一部を「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」を通じて、おもいやりの心を持った地球市民を育む活動に役立てられます。
「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」は、1989年に福岡市制百周年を記念して開催されたアジア太平洋博覧会「よかトピア」の記念行事としてスタートした、市民レベルの草の根国際交流事業です。春に福岡の子どもたち約100名をアジア太平洋の5～7ヶ国・地域へ派遣する「派遣事業」と、夏にアジア太平洋の子どもたち約300名を約40の国や地域から福岡に招く「招聘事業」が主な事業で、いずれも交流キャンプやホームステイ及び学校訪問などを通じて交流を深めています。

「WAON」の発行枚数等（2011年11月末現在）

累計発行枚数：約2,280万枚

月間利用件数：約4,750万件

月間利用単価：約1,790円

利用可能箇所：約130,000箇所（自販機、ドライブ-端末約76,000箇所含む）